

R2(秋) 花咲かじいさんプロジェクト 釧路町立遠矢小学校の児童による取組

令和2年10月27日(火)

未来を担う子どもたちが湿原や河川とふれあうとこで、釧路湿原が持つ自然の重要性について理解を高め行動できるよう、釧路町立遠矢小学校と協働して実施している植樹活動です。
緑豊かな水辺づくりをめざし、3年生・4年生の児童が自然木からのタネ採り、小さな苗づくりを行いました。

タネ採り作業：4年生24名が参加、アズキナシ、ズミなどは熟した果実を選定しなければなりません。(ものをよく見る集中力が必要です)



ヤチダモ、ツリバナ、ヤマモミジ、アズキナシ、ズミの種子を採取し、扇風機による種子の散布実験を行い、飛散距離の違いを体験しました。



苗床づくり作業：3年生31名が参加、小さな手で作業したこの苗づくりが将来とても大きな樹木となることをみんな期待していました。



タネをととても大切に扱う児童の姿がありました。春の花咲かじいさんプロジェクトでは、成長した苗を新釧路川の堤防に植樹します。



児童だけでなく保護者の参加もありました。「花咲かじいさんプロジェクト」の取組が27年を迎え、これまで5,700人を超える児童が参加しており、プロジェクトへの関心の高さに驚いています。
釧路町立遠矢小学校教職員の方々、ご配慮ありがとうございました。
「将来が楽しみです、これからもよろしく」の児童の言葉に元気をもらいました。
ありがとうございました。